

2017年7月3日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

農業生産と青果物流通技術の専門展示会「アグロ・イノベーション2017」内
特別展示「トマト・イノベーション」を初開催
出展者募集中！

高付加価値トマトの生産・流通のための最新技術を一堂に展示!!

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村 正己）は、2017年10月4日（水）～6日（金）に、東京ビッグサイト 東7ホールで、農業生産と青果物流通技術に関する専門展示会「アグロ・イノベーション2017」を開催します。その中で、今回初めて高付加価値トマトの生産と流通に関する最新技術を紹介する特別展示「トマト・イノベーション」を開催することとし、同特別展示への出展者を募集します。農産品分野の国際競争が激化する中、本特別展示では国内最大の施設園芸作物であるトマトに特化して、生産から流通に至る最新技術・製品（約70ブースを予定）を一堂に会して関係者間の交流を促進し、トマト市場ひいてはアグリビジネス業界振興の契機となることを目指します。



イメージ図

本展示の出展ブース料金（税込）は、1ブース（間口・奥行2.97m×高さ2.7m）あたり日本能率協会会員が37万8,000円、会員外は43万2,000円。出展申し込み締め切りは2017年7月24日（月）。お申し込みは日本能率協会（TEL：03-3434-1988）まで。

- 名 称：トマト・イノベーション (<http://www.jma.or.jp/ai>)
(アグロ・イノベーション2017内 特別展示)
- 会 期：2017年10月4日（水）～6日（金）10:00～17:00
- 会 場：東京ビッグサイト 東7ホール
- 主 催：一般社団法人日本能率協会
- 予定規模：トマト・イノベーション：30社／70ブース
(アグロ・イノベーション2017全体では150社／200ブースを予定)
- 出展募集製品：トマト生産および流通にかかわる製品・サービス（詳細は次頁ご参照）
- 来場予定者数：12,000人（合同開催展「アグリビジネス創出フェア」含む）
- 合同開催展：アグリビジネス創出フェア
- 同時開催展：JAPAN PACK 2017（東1～6ホール）
- 出展料金：日本能率協会会員：378,000円／1ブース（間口2.97m×奥行2.97m×高さ2.7m）
(税込) 協賛団体会員：388,800円／1ブース（間口2.97m×奥行2.97m×高さ2.7m）
会員外：432,000円／1ブース（間口2.97m×奥行2.97m×高さ2.7m）
農業参入受入自治体：291,600円／1ブース（間口2.97m×奥行2.97m×高さ2.7m）
- 申込締切：2017年7月24日（月）

【お問い合わせ先】アグロ・イノベーション事務局

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター（担当：栗橋、山口、肥本、田中）

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階

TEL: 03-3434-1988 / FAX: 03-3434-8076

※取材に関するお問い合わせは、広報室（担当：斎藤 / TEL：03-3434-8620）へお願いします。

別紙

【特別展示】 トマト・イノベーション 企画書

- ①主 催 一般社団法人日本能率協会
- ②趣 旨 施設園芸作物の中で最も生産量の多いトマトは、今後も消費の拡大が期待されている。一方、農産物の国際競争が一層熾烈となるなか、国産トマトの市場振興を図るには、付加価値の高いより魅力あるトマトの生産・製品づくりが重要となる。また、生産から流通に至る全プロセスでの品質管理の徹底やサプライチェーンのさらなる効率化も不可欠となってきた。そこで、アグロ・イノベーション 2017 では、高付加価値トマトの生産・流通を促進するための国内外の最新技術や多彩な製品を集中展示し、各業界関係者とのマッチングを行うことにより、日本のトマト市場ひいてはアグリビジネス業界全体の振興・拡大に貢献していく。
- ③テーマ 高付加価値トマト生産・流通のための最新技術を一堂に展示！！
- ④会 期 2017年10月4日（水）～6日（金） 10:00～17:00
- ⑤会 場 東京ビッグサイト 東7ホール内
- ⑥出展対象<生産>
- ・温室、被覆資材
 - ・付帯設備（カーテン、換気、暖房、冷房など）
 - ・栽培装置、作業機械
 - ・統合環境制御、生育モニタリング
 - ・作業管理、生産計画、経営
 - ・種苗、接ぎ木、苗生産
 - ・培土、肥料、農薬
 - ・品質評価（糖度計、成分分析など）
- <流通>
- ・加工（カッター、スライサー、色彩選別機など）
 - ・包装（発泡スチロール、ラッピング、ラベルなど）
 - ・鮮度保持技術、サービス
 - ・運搬資機材（パレット、コンテナ、仕分け機器など）
 - ・小売
- ⑦来場対象 農業生産者、農業参入検討者、農業団体・組合、小売、卸など
- ⑧企 画
- ・会場内セミナー（トマト生産・流通の最新動向、GAP等経営管理技術の動向など）
 - ・トマト生産・流通相談コーナー
 - ・トマトの試食コーナー（食べ比べ）
 - ・トマトの調理実演コーナー
 - ・国際展示コーナー（トマト植物工場の世界最新技術の展示）等、
トマトに関する最新トレンドを楽しく学べる企画を会場内にて開催

以上

*この企画書の内容は2017年7月時点のものです。事情により変更することがあります。